

ヨコトリツ!

横浜トリエンナーレサポーター Hama-Treats!'s フリーペーパー Yoko-Treats!

VOL.6
JUL.2014

ヨコトリ2014開幕直前!
サポーターの準備も加速中!



「ヨコトリツ! (Yoko-Treats!)」は、「横浜トリエンナーレ」を応援し一緒に盛り上げる活動を行うサポーター「Hama-Treats!」による手作りのフリーペーパーです。「トリツ/Treats」には、「思わぬ喜び、とてもいいもの」という意味があります。横浜のいいもの、楽しいものをお伝えしたい! ということが名付けました。ハロウィンの決まり文句 “Trick or Treat!” (「トリック オアトリート!」=お菓子をくれないきゃイタズラするぞ!)から連想して、みんながワクワクするような情報交換の場を目指しています。

ヨコハマトリエンナーレ2014「華氏451の芸術:世界の中心には忘却の海がある」

会期: 2014年8月1日(金)~11月3日(月・祝) | 主会場: 横浜美術館、新港ピア(新港ふ頭展示施設)

アートディレクター: 森村泰昌

ヨコハマトリエンナーレ2014公式WEBサイト <http://www.yokohamatriennale.jp/>



「忘却」に想いを馳せる

漫才「ソノ」のナイツに、こんなネタがある。

「サッカーワールドカップのテレビ視聴率、なんと35パーセントだったんです。」

「はいねでもそれって、65パーセントが観てないんですよ。」

これは鋭い。35パーセントの視聴率を話題にすればするほど、65パーセントの無関心層は、ほとんど忘れられていく。今回のヨコトリのキーワードは「忘却」である。「私たちの大事な忘れ物」がテーマなのだが、35パーセントの記憶の裏には、忘れられた65パーセントが隠れているという、記憶と忘却の、なんとつか、アチラをたてればコチラがたすの非情な関係を、ナイツの漫才は見事に指摘している。

あるいはこんな例をあげてもいいかもしれない。たとえば私が自伝を書くとする。すると、一冊の本になった私の人生を読んで、多くの人々は、「なるほど、モリムラはそういう生き方をしてきたのか」と、私のことを理解できたよ

うな気になるだろう。評論家にとっては、モリムラ論を書くための格好のテキストにもなるだろう。

しかし考えてみれば、自伝なんて、私のウソ十年の人生の総体に比べれば、宇宙の塵ほどのちっぽけな情報にすぎない。私の人生という膨大な時間の集積の、ごくわずかな部分のみを巧みに編集して、「これが私の人生です」と差し出してみせたにすぎない。私は自分の人生を自伝として語ることで、語らない大半の人生を、いわば、「忘却化」してしまっているのである。

「忘却」という言葉には、消滅してしまつたものへの哀悼の気持ちが入められている。あるいは、世の中で役に立たないレトルを貼られ、「ゴミ箱に捨てられ忘れられていくものに対する愛憎の念もある。そついった「忘れられたものたち」忘却への想いととも、冒頭で挙げた事例のように、人間の思考や行動が本来的に持つ、少々おおげさなといえば、「根源的忘却」にも目を向けたい。

ヨコハマの埠頭から、広くて深い海を

Morimura Yasumasa 森村泰昌



©Morimura Yasumasa + ROJIAN

【森村泰昌 プロフィール】1951年、大阪市生まれ、同市在住。京都市立芸術大学美術学部卒業、専攻科修了。1985年、ゴッホの自画像に扮したセルフポートレイト写真を発表。以後、一貫して「自画像的作品」をテーマに、美術史上の名画や往年の映画女優、20世紀の偉人たちなどに扮した写真や映像作品を制作している。ヨコハマトリエンナーレ2014アートディレクター。

ながめつつ、忘れられた世界に想いを馳せる。お盆の八月に開幕を迎えるヨコトリには、「忘却」というテーマが、よく似合う。

横浜トリエンナーレサポーター Hama-Treats!'s フリーペーパー「ヨコトリツ!」VOL.6 ●企画編集: 横浜トリエンナーレサポーター Hama-Treats! フリペーパーチーム(青木邦彦/入江暢子/上田良寛/江藤真央/梶原千春/木村彰一/斎藤照子/深野一穂/山田崇之) ●カバーアート: 久地岡聡志 ●紙面デザイン: 山田崇之 ●発行日2014年7月13日 ●発行元・お問合せ: 横浜トリエンナーレサポーター事務局[横浜市中区日ノ出町2-158 黄金町エリアマネジメントセンター内] TEL: 045-325-8654 ●横浜トリエンナーレサポーター公式WEBサイト <http://www.yokotorisup.com>

次号予告 **ヨコトリ2014開幕特集!** 開幕レポートに、本番を迎えたサポーター活動の紹介など、内容盛り沢山で、8月中旬発行予定!

横浜トリエンナーレサポーター Hama-Treats! 5チームの活動報告!

イベント・企画チーム

本展中はさらにホットなイベントを!
いよいよ夏本番!アツい開港祭出店を終え、ヨコトリ開催まであと30日を切りました。さらに新メンバーも加入し、企画チームの士気は高まるばかり。猫の手も借りたい...そんな大忙しな我々ですが、本展中にはよりホットなイベントをお届けできるよう鋭意考案中です。今後ともcheck it out☆(小松)

LOGBOOKチーム

これからが本番!ときめきLOGBOOK体験しませんか?
本展開催期間中に、logbookを手に横浜を航海してもらえるよう準備を進めています。logbookを作るワークショップや展示も企画中。見慣れた横浜の街が違って見えてくるなんて、まるで恋する感覚♥ 忘れかけたときめきを取り戻したいそのあなた!LOGBOOKチームでお待ちしています。(キャサリン)

子どもアートチーム

子ども×アートでみんなが楽しいワークショップなど企画中!
子どもたちがアートを身近に感じられるように、子どもが楽しめる企画を考えて実践するグループです。オリジナルワークショップをさらにブラッシュアップして、7/19に実施予定!本展に向けて、着々と準備中。興味のある方、ぜひご参加ください★(伊神)

フリペチーム

Love The Way You Read Yoko-Treats!

Here we go! Yo! Yo! 今号から 実質月刊
大丈夫か? 不安若干
大丈夫さ! 割と楽観
といいつつ 最後は突貫

これからご愛読ヨロシク Check it out!(MCウエダ)

デザインチーム

本展に向けて絶賛★デザイン中

30日前カウントダウンイベントを終え、休む間もなく色々制作しなければならぬデザインチーム☆現在ヨコトリ2014をアピールするグッズなどを制作中!新メンバーを加え、さらにパワーアップしたデザインチームで本展に向けて突っ走ります!(上里)

夏本番



江藤真央 <http://maoeto.tumblr.com>

横浜トリエンナーレサポーター「Hama-Treats! (ハマトリツ!)」は、課外活動として5つのチームに分かれて活動中です。興味を持った方誰でも参加できます!

横浜トリエンナーレサポーター「Hama-Treats!」公式WEBサイト

<http://www.yokotorisup.com>

7月31日[木]までの限定販売

前売券発売中!!

華氏451の芸術: 世界の中心には 忘却の海がある

(Morimura, 2013)

ヨコハマ トリエンナーレ 2014

8.1[金]—11.3[月・祝]

[主会場] 横浜美術館、新港ピア(新港ふ頭展示施設)

[前売連携セット券(ヨコハマトリエンナーレ2014、BankART Life IV、黄金町バザール2014)]

一般 2,000円 / 大学・専門 1,500円 / 高校生 1,100円

(当日券2,400円) (当日券1,800円) (当日券1,400円)

[前売単体券(ヨコハマトリエンナーレ2014)]

一般 1,400円 / 大学・専門 900円 / 高校生 500円

(当日券1,800円) (当日券1,200円) (当日券800円)

チケット販売センター 045-461-3636 (株式会社相鉄エージェンシー内)

ハローダイヤル (8:00~22:00)
03-5777-8600 050-5541-8600 www.yokohamatriennale.jp

サポーターの皆さんに「ヨコトリは私の展覧会だ」って思ってもらえたら、最高。

いよいよ八月一日に開幕が迫ったヨコハマトリエンナーレ2014。ヨコトリサポーター（美術館チーム）がガイド役として会期中の横浜美術館内で「事前ガイダンス」と「ギャラリーツアー」を担う。「事前ガイダンス」は団体来場者に向けてヨコトリの見どころや鑑賞時の注意点を説明。「ギャラリーツアー」は会場を巡りながら作品紹介を行う。今回は、サポーターによるこれらの活動を支援する横浜美術館教育普及グループ教育プロジェクトチームの端山聡子氏にお話を伺った。（インタビュアー：入江・上田・梶原）

—教育プロジェクトチームではどんな取り組みをされていますか？

—展示会や作品の鑑賞に関する教育プログラムの実施と、ボランティアの育成に代表されるような市民協働という二つを主な取り組みとしています。

—横浜美術館のボランティアはどういった方々ですか？

—私たちのチームでボランティアの活動が始まったのは二〇一二年十一月頃からで、二十人くらいでスタートしました。当初は、視覚障がい者の鑑賞の支援などを中心に展開していました。

—ヨコハマトリエンナーレ2014ではどのような体制で取り組むのですか？

—横浜美術館では横浜トリエンナーレという大きな事業に対して、ボランティアの方々にどのように活躍してもらったかを検討してきました。これまでの美術館ボランティアは、視覚障がい者の鑑賞を支援してきた。そして、美術館ボランティアとは別にヨコトリサポーターという人たちが実によくあって、ヨコトリを通して長く活動されている。そこで、美術館ボランティアとヨコトリサポーターが一緒になって、ヨコトリの来場者の鑑賞支援をすることになりました。

—昨年秋から二月にかけて開催した下村観山展でボランティアによる展覧会の見どころ紹介を始めましたね？

—はい。下村観山展とその次の木版画展では、展覧会の概要とお勧めの作品や見どころを語る「展覧会コトコト」みたいなという三分のトークを実施しました。ヨコトリという大きな舞台でボランティアがガイドをするという、あまり経験のないことをやるためには、その前に準備が必要だと思いましたが、

—では、ヨコトリに向けてのボランティアの意味もあつたんですね。ヨコトリに向けてサポーターの勉強会を開催されていますが、ガイドの際の原稿など

端山聡子（はやまさとこ）横浜美術館主任学芸員（教育普及担当）。1989年より平塚市美術館に勤務。教育普及、資料整理、保存などを担当し、教育プログラムや企画展として展開した。2013年9月より横浜美術館教育普及グループ教育プロジェクトチーム。現在の主な関心は社会の中における美術館の役割や、生涯学習機関としての美術館の活動と美術と人との関わりについて。



—下村観山展でも木版画展でも原稿はボランティアの方々に書いていただきました。美術館からトーク原稿をお渡しすることはしていません。ボランティアに応募された方が、美術について面白いなと思って新しい考え方を得た、新しい世界を見た、という経験をしていただくには、自らが学習するプロセスは必要だと思いを、そうしています。

—未経験の方を、から指導する点においては苦勞も多いと思いますが、いかがですか？

—苦勞というより、まず、素晴らしいサポーター（ボランティア）の方々が来てくださっています。本当に自分が学びたいとか伝えたいという思いで取り組んでいてくださっています。百人を超える方がヨコトリの鑑賞に関わるサポーターに応募してくださったというところは本当に驚きました。

—会期中のガイドはどういった形でのですか？

—二十名以上の団体を対象とする「事前ガイダンス」は一方的な説明ですが、「ギャラリーツアー」では来場者とのコミュニケーションが可能なので、対話型も取り入れながら進めていければと思います。対話型のほうが、深い知識や経験が必要なので難しいのですが、取り入れることができれば、来場者の鑑賞が豊かになりますね。

—ヨコトリでの教育プロジェクトチームとしての目標は？

—サポーターの皆さんに「これは僕の、私の展覧会だ」と思ってもらえたら、最高。私たち職員にとって喜びですよ。だから、皆さんにはヨコトリをよく知って、いろいろな点から作品についても展覧会についても深い理解をしていただきたいです。そして、そのためのプロセスはサポーターの皆さんの意見を聞きながら一緒に考えていきたいです。

—サポーターを信頼していらっしゃるんですね。

—私はサポーターに応募したという時点ですごいな、素晴らしいなと思います。直接お話しできる機会が限られていますが、いろいろなサポーターの方と出会いたいですね。そして今後の美術館の活動をどうしていったらいいのか考えるヒントを得たいと思っています。本当に、ヨコトリのサポーターは、私たちに

ヨコトリ2014開幕直前！サポーターの準備も加速中！

全国、そして全世界から来場されるお客様にもっとヨコトリや横浜を楽しんでもらえるように、と、開幕を控えて準備に余念がないヨコトリサポーター「ハマトリーツ」。さまざまな活動やプロジェクトが進行中ですが、なかでも特に多くのお客様と触れあうことになる「ギャラリーツアー」や「事前ガイダンス」、そして「おもてなしプロジェクト」について紹介しましょう！



ボランティアの研修会で熱心に学ぶサポーターたち

MUST VISIT! inYOKOHAMA

ヨコトリ会場からちょっと足を伸ばして、横浜のまちの魅力も感じてほしい！絶対訪れたい横浜のスポットや散策コースを、横浜トリエンナーレサポーター「ハマトリーツ」が紹介します。

開港場へ続いた野毛の切り通しを抜けて野毛山へ

横浜美術館から急な坂スタジオ経由で初黄・日ノ出町地区まで、小一時間の散歩を楽しみませんか。

ランドマークタワーと日本丸に挟まれたさくら通りを山側に進む。JRガードを潜ると目の前に紅葉坂、かつては一帯に楓が多かったらしい。

坂を登りきると神奈川奉行所跡碑、少し手前に1874年の金星太陽面経過観測記念碑。振り返るとランドマークタワーが手に取るようだ。右手一帯に神奈川県立音楽堂・図書館・青少年センター。奥に横浜能楽堂・掃部山公園。能楽堂は公演がなければ見学可能、掃部山公園には横浜開港の恩人、かつての彦根藩主・井伊直弼像が建つ。寄り道も楽しいだろう。左手に関東のお伊勢さんと言われる伊勢山皇大神宮。

すぐの五差路を左に折れて暫くが横浜道。右手から横浜道、右斜めから保土谷道が合流する。開港当時、開港場へと続く道だった。石垣の切り通しを過ぎると野毛坂交差点、右折して道なりに進む。

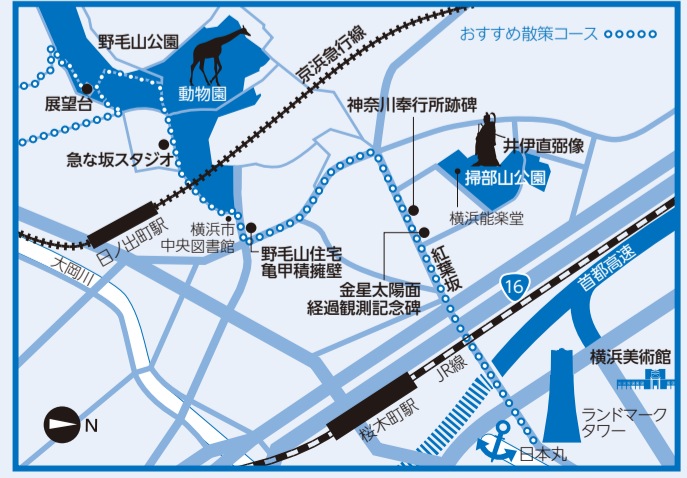
交差点の一角、城かと思える野毛山住宅亀甲積擁壁は、明治の豪商邸の名残。反対側に横浜市立図書館、屋外のベンチに柳原義達の鳩がさりげなく置かれる。少し先に急な坂スタジオ、すぐに野毛山公園。公園には動物園と散策路・展望台・近代水道の生みの親H.S.パーマー像などがある。展望台からは、横浜駅付近からみなとみらい・山手が見える。足元の斜面が平地に変わる辺りが初黄・日ノ出町地区。展望台で見当を付けて、後は坂を下る方向に進めば良い。（深野）



掃部山公園の井伊直弼像から見るみなとみらいのビル群



初黄・日の出町地区が見渡せる野毛山公園の展望台



世界の人にヨコハマをもっと楽しんでもらいたい！「おもてなしプロジェクト」鋭意進行中！

ヨコハマトリエンナーレ2014には横浜市民だけでなく近隣の方々、遠方の方々、そして海外からのお客様と多岐にわたる地域・性別・年齢層の方々に来られます。来て下さったお客様にトリエンナーレだけでなく、ここ「ヨコハマ」の良さをお届けしたい、そして、是非また横浜に来てほしいという気持ちから、われわれ「おもてなし」プロジェクトは発足いたしました。単なる地図やガイドブックには載っていない「生きた情報」や「隠れた情報」、そしてメジャーな情報だけでなく例え少数派であっても、個々のお客様が必要とされる「マイナー」な情報（例えばペット入店可能なお店など）も「おもてなし」精神でご用意したいと思っております。メンバーは、見る、聞く、触る、嗅ぐ、味わうの五感をフルに活用し情報収集に努めておりますが、皆様からの口コミも大きな情報源です。お勧めしたい横浜の魅力、見どころをご存じの方は是非メンバーにご一報ください。（おもてなしプロジェクト名誉会長 満岡重敏）

ヨコトリ2014の来場者の皆さんのお役に立ちたいという思いで、各チームに属して活動している有志が集まりました。それが「おもてなしプロジェクト」です。五月十八日のキックオフミーティングが本格的な活動開始になりました。情報を提供する際には、まずは我々が情報を持っているだけで十分で、美術館会場内に設置するデジタルサービスセンターにいるサポーターが、情報を必要とする人に届けることができないういけません。情報がニーズに沿った形で整理されていないといけないという事です。整理のポイントは、「どういう人に向けた情報なのか」という事です。メンバーからは、「子どもが遊べる場所」、「外国からのお客様も楽しめる」ところ、「横浜の歴史を知ってもらいたい」と、サポーターの思いも詰まったテーマが集まりました。個々の情報を集めるのは「足元」が決め手です。開港祭では、お祭りに来ていた人たちに「私のオススメのヨコハマ」を聞いてもらいました。七月六日の三十日前カウントダウンイベントでは、グループに分れ、「来場者に紹介したいモノ」を発掘するた



思いをカタチに おもてなしプロジェクト活動状況

め、まちに繰り出しました。こうして集めた情報をデジタルサービスセンター内だけで提供するのではなく、さらに多くの人に楽しんでもらえるよう地図の形にすることを計画中です（提供は開幕後しばらくしてからになる可能性があります）。一つは紙の地図。移動ルートのそばに配置したオススメスポットで、「寄り道したくなる」地図を目指します。もう一つはスマートフォンアプリとして提供するAR地図。ARはAugmented Reality（拡張現実）の略で、スマートフォンのカメラを向けると、ファインダーに映る風景（現実）に、オススメスポットの情報が付加されて表示されます。オススメスポットが「おいでおいで」をしているような錯覚になるかもしれません。ヨコハマトリエンナーレ2014にいらしたら、ぜひデジタルサービスセンターにも寄ってください。特に目的がなくてもサポーターから意外な情報が引き出せるかもしれません。地図もゲットしてください。当日は寄り道する時間がなくなります。「寄り道するために」またヨコハマに来たくなりますよ。（上田）